

技術提案

多様

国土交通省は15日、直轄工事の調査・設計から管理に至る一連のプロセスにおける課題について話し合う「発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会」の初会合(写真)を開いた。初会合で国土交通省は技術力や企業を選定し、価格などを交渉する「技術提案競争・交渉方式」

設減容化 成を公告

環境省

物の国代行政処理業務(広野町)における仮設減容化処理施設敷地造成工事の一般競争入札を公告した。対象は県内に本

来月1日に適用開始

道建協の標準見積書活用

日本道路建設業協会(道建協)は、法定福利費の内訳を明示する「標準見積書」とその活用方法を定めた。会員企業に元請と下請が混在する状況などを踏まえた対応で、8日の常任理事会で決定し、11日付で通知した。適用開始日は12月1日に設定したが、それ以前の使用も可能としている。

東北地方整備局福島川国道事務所はこのほど、阿武隈川上流総合水対策検討業務の簡易型プロポーザルで、設計技術研究所を委託した。阿武隈川上流総合治水対策検討業務。阿武隈川上流都市

維持・修繕工事は小規模な補修箇所が点在しているなどの理由でコストが割高になったり、設計変更が多いなどの課題が指摘されている。施工実態が適切に反映されるよう、維持補修に係る積算基準の新規制定や、既存の積算基準の見直しなども検討する予定だ。

22日に土研技術発表会

仙台でショーケース13

土木研究所主催(建設コンサルタント協会東北支部共催)の「土研 新技術ショーケース2013 in 仙台」が22日、仙台市青葉区の仙台国際センターで開かれる。東北地方整備局、全国建設業協会、日本建設業連合会東北支部など後援。社会資本の整備や管理に携わる技術者に対して得られた土木研究所の新技術を紹介する。展示・技術相談コーナーは午前9時半から午後6時まで。実際の技術に向けて個別の技術相談も受け。

安藤東大教授が講演

地域材の可能性探る

伊達クラフトデザインセンター(アーツ・シー・ツー)有限責任事業組合、略称「DC2」は30日午後1時半から、伊達市の保原小学校で「木を活かす新しいビジネス発信!木づかい啓発セミナー」を開催する。木質材料学、木質構造学が専門の安藤直人東京大学名誉教授の

が必要。連携して災害防止に取り組みなければならぬ」と語り、受発注者双方の積極的なリスクアセスメントの導入を求めた。阿武隈川上流都市

会津

26年度

門田

会津農林事務所が度に着手した経営基盤整備門田第一は、26年度から



改善点を指摘した有意義なパトロールとなった」と述べた上で、「人間の注意力に頼ったリスク低減措置は弱い。災害防止を先取りした具体的な措置

有紀(本社)会津若松市町北町上荒久田字宮下63、橋本保社長)は、PET樹脂を特殊加工した高性能天井照明用反射板「ハシモトZ」の本格営業を開始した。

同反射板は、古河電気工業が製造した素材を日本CSS(本社)東京都中央区)が天井照明用反射板として新たに開発した高性能照明反射板で、

コスト削減と照度アップを実現する天井照明用反射板

井高2.5m以上、蛍光灯9灯以上の部屋に同反射板を設置した場合、室内の照度を維持しながら、電気代コストを5割以上も削減する。

施工法も蛍光灯本体部に取り付けるだけの簡単な施工で、施工後も特別な維持作業が不要。コスト削減とCO2対策、社員の仕事環境を向上させる照度アップに威力を発揮する。詳しくは同社0242(39)2308まで。

武田土建工業が候補

北校舎の1期耐震改修

若松農産協縁と県道湯川大町線の交差点西側に当たる武田土建工業が落札候補となった。応札2社。RC造3階建て延べ3081平方メートルの鉄骨ブ

佐藤建設が落札

下郷町はこのほど、次期ゴルフ場整備

▽パークゴルフ場整備(2工区) 佐藤建設 落4168万5000円 大川ふるさと公園内、工期は26年3月24日。

は26年3月31日。会津若松市米代1丁目地内。